

第一回「古文書解読入門」返読文字を中心に」

○「権現様御判物」(AS317-7-2)

【原文】

羽田之内秋田仙也
前之通合下之通也
行也

享和七年七月七日御判

依竹仙也

○「権現様御判物」（AS317-7-2）

【解説文】

出羽国之内秋田仙北両
所進置候、全可有御知
行候也

（一六〇二）

慶長七年七月廿七日御居判

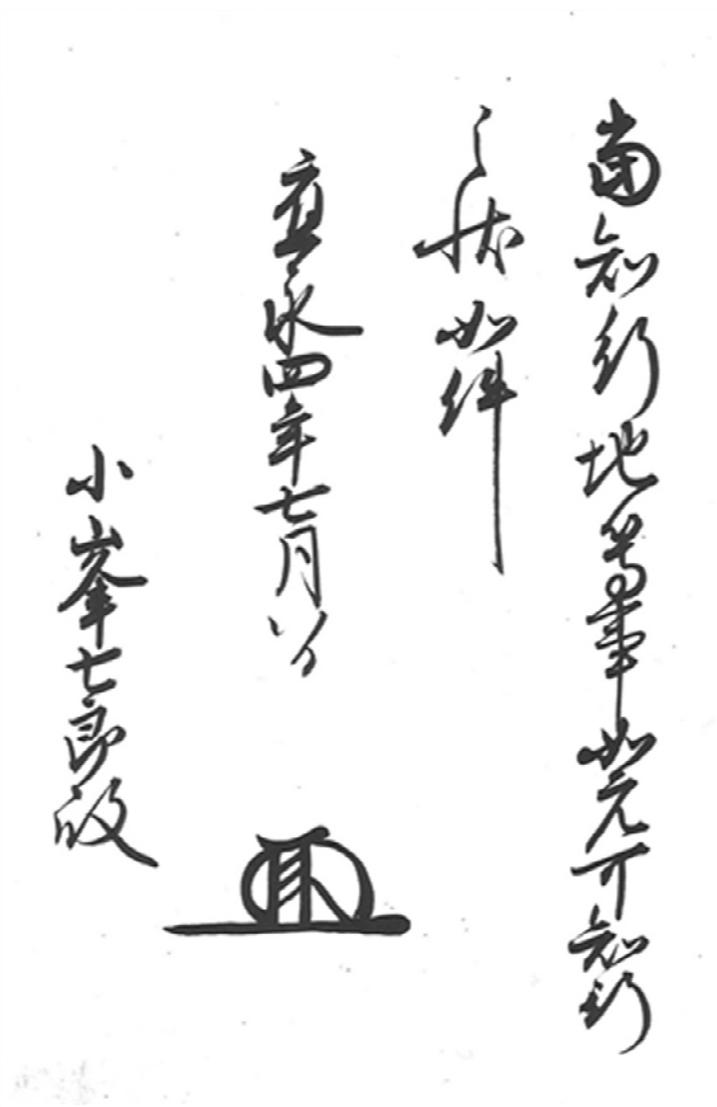
（佐竹義宣）

佐竹侍従殿

○小峰七郎宛知行安堵状

(秋田藩家蔵文書 A280-69-3-13)

【原文】



【解説文】

当知行地等事如元可知行
之状如件

(二三九七)

応永四年七月八日 (花押)

小峯七郎殿

○「江戸在番御用留書」（「宇都宮孟綱日記」十九

天保十五年十一月二日条 AS312-45-19)

【原文】

御本丸は昔より清浄な事
三方土を友と紙は友
与達
御聴取に候は候
思ふに候は候
通る上納は友
去方石を友
割成る上納は
御本丸は昔より清浄な事
御本丸は昔より清浄な事
御本丸は昔より清浄な事

【解説文】

御本丸御普請二付、金

三万五千両上納仕度

旨達

御聴尤之儀御機嫌二

被 思召候、乍然願高

之通ニは上納ニ不及、

壹万石ニ付五百両之

割合を以上納被

仰付候、右御普請之

御用途ニ可被差加旨

被

仰出候

「江戸在番御用留書」(「宇都宮孟綱日記」十九

天保十五年十一月二日条 AS312-45-19)